

秩父市の連結財務諸表

市では、国の推奨する企業会計の手法を取り入れた「新地方公会計制度」に基づき、公営事業や第3セクターなどの団体を含めた連結ベースでの財務諸表（①貸借対照表、②行政コスト計算書、③純資産変動計算書、④資金収支計算書）を次のとおり作成しました。

なお、財務諸表については、市HPをご覧ください。

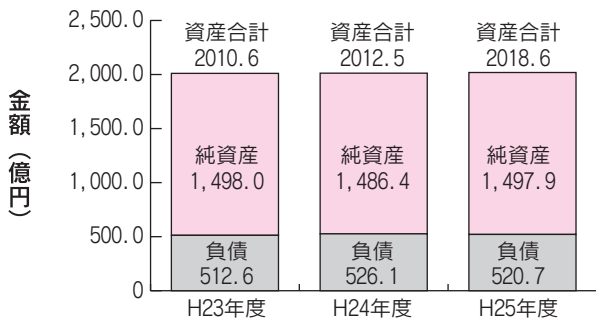
問会計課 ☎ 25-5219

作成基準日：平成26年3月31日

1. 貸借対照表

基準日時点の秩父市の資産保有状況と、その資産の財源調達状況を対照表示したものです。

資産	2,018億 5,853万円
市が所有している財産 【内訳】	
公共資産	1,789億 3,154万円
学校、道路など	
投資等	142億 6,637万円
出資金、基金、有価証券など	
債権	21億 1,508万円
未収金、貸付金など	
資金	65億 4,554万円
現金、預金など	
負債	520億 6,887万円
将来世代が負担する必要がある 借入金や地方債などの債務	
純資産	1,497億 8,966万円
現在までの世代がすでに負担した金額で返済義務を負わないもの	
	純資産比率 74.2% (資産のうち、返済義務を負わない資金(純資産)の割合)
住民1人あたり資産	303万6千円 (H24: 298万4千円)
住民1人あたり負債	78万3千円 (H24: 78万円)



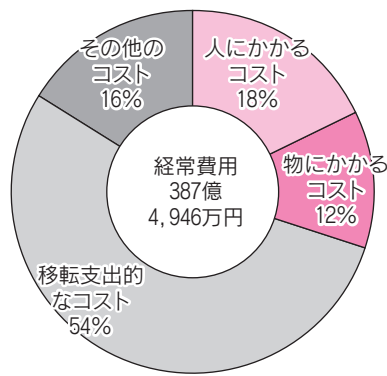
2. 行政コスト計算書

一会計期間における資産形成に結びつかない、行政サービスに伴うコストを明らかにするものです。

経常費用	387億 4,946万円
【内訳】	
人にかかるコスト	70億 8,207万円
職員給与、議員報酬など	
物にかかるコスト	46億 1,154万円
維持補修費、減価償却費など	
移転支的コスト	210億 3,478万円
補助金、福祉給付など	
その他のコスト	60億 2,107万円
委託費、地方債の利子など	
経常収益	66億 4,306万円
使用料・手数料など	
純経常行政コスト	321億 640万円
経常費用から経常収益を差し引いた 純粋な行政コスト	

住民1人あたり人件費	10万7千円 (H24: 12万9千円)
住民1人あたり純経常行政費用	48万3千円 (H24: 48万9千円)

経常費用内訳



3. 純資産変動計算書

一会計期間において、純資産がどのように変動したかを表します。

期首純資産残高	1,486億 4,355万円
当期変動額	
純経常費用	▲321億 640万円
純経常行政コスト	
財源調達	409億 2,700万円
市税収入、国県補助金など	
その他	▲76億 7,449万円
固定資産形成など	
期末純資産残高	1,497億 8,966万円

対象範囲：一般会計、特別会計、公営企業会計(水道、病院)、(株)龍勢の町よしだ、(株)源流郷おおたき、(有)ちちぶ観光機構、(一財)秩父地域振興公社、(福)秩父市社会福祉事業団、市町村総合事務組合

4. 資金収支計算書

一会計期間における資金の流れを性質の異なる3つの活動に分けて表示したものです。

期首資金残高	56億 5,499万円
当期収支	
経常的収支	59億 2,833万円
行政サービスに伴う経常的収支	
資本的収支	▲47億 5,168万円
資本形成活動に伴う収支	
財務的収支	▲2億 8,610万円
地方債などの管理に伴う収支	
期末資金残高	65億 4,554万円

※総務省「新地方公会計制度研究会報告書」における「基準モデル」で作成。
※基準日時点の秩父市の人口：66,485人
※表示単位未満を四捨五入しているため、合計と一致しない場合があります。